

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、年金保険料揚げ・消費税揚げや10Y発行などの要因から、週間の資金需給は大幅な不足となったものの、150兆円前後の当座預金残高や国債買入オペの実施を背景に、特段取り急ぐ動きは見られなかった。ビッドは地銀、信託業態から0.06~0.065%、大手行から0.06%が週を通して入り、落ち着いた展開が続いた。また、一部の邦銀から試し取りと見られる調達が見られたことで、0.12%を超える出合いも見られ、無担保O/N加重平均レートが多少押し上げられ、週間の無担保コールO/N加重平均レートは0.065~0.070%台前半での推移となった。ターム物は、大手行が1W~1Mまでの調達を行った。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは7日に3M物がオファーされ、応札額4,040億円と札割れの結果となった。7,8日には日銀金融政策決定会合が開催され、現状維持が全員一致で決定された。

今週のインターバンク市場は、11日がTB3M・TB6M発行超過要因で大幅な資金不足日が見込まれる一方、15日は年金定時払いによって大幅な資金余剰日となる見込みである。週全体の資金需給はやや不足になると予想されるが、当座預金残高は依然として150兆円前後と高水準であり、落ち着いた展開が続くものと思われる。主な経済指標としては、13日に4-6月期のGDP1次速報の発表が予定されている。

2. オープン市場

先週の短国市場は、6日に6M物、7日に3M物の入札が実施された。6日に行われた6M物の入札は、WI取引で目立った出合いがなく、落札水準が見定まらない中、平均落札利回0.0159%、最高落札利回0.0199%と強めの結果となった。7日に行われた3M物の入札は、WI取引において0.020~0.0225%と強めの出合いも見られたものの、平均落札利回0.0236%、最高落札利回0.0280%と6M物入札と対照的に落ち着いた結果となった。セカンダリーでは6M物が0.012%まで買い進まれ、3M物が0.024~0.025%の出合いとなっていた。

先週のCP市場は、夏季休業に入った事業法人が散見されたこともあり、10日にかかる発行があったものの、発行総額は週間で5,400億円程度にとどまった。市場残高の積み上がりりと5日に実施されたCP等買入オペの落札利回の上昇等によって、購入意欲が減退したことから、a-1格以上の発行レートは、週を通して上昇基調となった。CP等買入オペは4,500億円を実施され、応札可能な銘柄が多かったこともあって、按分落札利回0.092%と前回オペ比で上昇した。

今週の短国市場は、13日に2M物、14日に3M物の入札が実施される。基本的には順調ながらも、短国買入オペの動向を眺めながらの入札となることが予想される。CP市場は事業法人が本格的に夏季休業に入ることから、発行額、発行案件共に少なくなるため、閑散となることが予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,100億円程度の発行超見通し。財政資金は、11日がTB3M発行超過とTB6M発行超過要因等によって主な不足日となり、15日が年金定時払い等によって主な余剰日となる。週間では10,700億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で11,800億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<11日> TB3M; 償還41,000億円・発行57,000億円 / TB6M; 償還29,000億円・発行35,000億円 / 流動性供給; 発行3,000億円 <13日> 交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円 <14日> 30Y; 発行6,000億円 <15日> TB2M; 発行25,000億円 / 2Y; 償還24,000億円・発行27,000億円 / 個人向け3Y・5Y・10Y; 発行2,700億円 / 個人向け3Y; 償還1,200億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/11 (月)	900	△ 42,700	△ 41,800	全店共通(固) CP買入 社債買入 ETF買入	△ 5,000 △ 300 △ 100 200	4,000	△ 1,200	△ 43,000
8/12 (火)	0	1,000	1,000				0	1,000
8/13 (水)	0	△ 4,000	△ 4,000				0	△ 4,000
8/14 (木)	△ 1,000	△ 7,000	△ 8,000				0	△ 8,000
8/15 (金)	△ 1,000	42,000	41,000	社債買入		1,000	1,000	42,000
週間合計	△ 1,100	△ 10,700	△ 11,800		△ 5,200	5,000	△ 200	△ 12,000

(注) 上表の8/11は日銀予想、8/12以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/11 (月)	7月のマネースtock (日銀 8:50) 金融経済月報 (日銀 14:00) 6月の第3次産業活動指数 (経済産業省 8:50) 7月の消費動向調査 (月次、内閣府 14:00)		
8/12 (火)	7月の企業物価指数 (日銀 8:50) 6月の石油等消費動向統計 (経済産業省 13:30)	30Y 6,000億円 8/14発行	交付税借入 10,500億円 8/20借入 7月の米財政収支
8/13 (水)	4-6月期のGDP 1次速報 (内閣府 8:50) 6月のマネタリーサーベイ (日銀 8:50) 金融政策決定会合議事要旨 (7月14, 15日分8:50)	TB2M 25,000億円 8/15発行	7月の米小売売上高 6月の米企業在庫
8/14 (木)	6月の機械受注統計 (内閣府 8:50)	TB3M 57,000億円 8/18発行	4-6月期のユーロ圏GDP速報値 7月のユーロ圏消費者物価指数改定値
8/15 (金)		国有林野事業借入 986億円 8/25借入	4-6月期の英GDP改定値 7月の米生産者物価指数 7月の米鉱工業生産・設備稼働率 8月のミシガン大消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。